

うわさ

中 二

私は、ある日友人からこんな話を聞きました。

「あの子、性格悪くてすごく嫌われているらしいよ。」

私とその子はクラスは違いますが、何度か話したことがあります、とても優しい子でした。このうわさを聞いたときは、そうなのかなと思う程度でしたが、本人と一対一で話すとなると、あのうわさがひっかかってしまい、いつも通り話すことができないような気がしました。

そしてまた別の日、同じ友人は私に

「あの子、やっぱりクラスで嫌われているらしいよ。」

と言い、その子のクラスでの行動や発言などを聞かされました。私は、その子のことは嫌いではありませんでしたが、友人から、この嘘か本当か分からないうわさを聞いてなんとなく、あまり関わらないほうがいいかなと、思ってしま

いました。

それからなんとなく私はその子を避け始めました。もちろん無視したり、悪口を言ったわけではありません。その場の空気に流されて、なんとなく冷たくしてしまっただけです。それからその子はいつも通り話しかけてきましたが、私は素っ気ない態度をとってしまい、その子となかなかうまく話せなくなりました。きっと私は、自分が何かうわさされ、不特定多数の人に変なイメージをもたれるのが嫌だったのだと思います。

その後、その子とは自然とあまり話さなくなり、その子のことを気にかけることもなくなりました。私は、そのとき、人と人とのつながりは、けっこう簡単に終わってしまうのだなと思いました。そして、その子に自分から話しかけることはありませんでした。しかし、ある日、学校行事がきっかけでその子が話しかけてきました。なんとなく避けてしまっていた私に、いつもと同じ笑顔で話しかけてくれました。久しぶりに話せたうれしさと、今までその子を避け

てきた罪悪感で、微妙な気持ちでしたが、このことがきっかけで私たちは少しずつ話すようになりました。最初は、他愛もない話をして笑い合っているだけでしたが、ある日その子から、「クラスの人に嘘のうわさを流されて困っている。」

と言われました。もちろん私はその話を知っていました。その子は、うわさに対して、

「私は何もしていないし、普通に学校に通っているだけ。自分の意志で生きていけば、周りに惑わされることもないし、周りのことが気になることもない。」

と言いました。私は、単純にその通りだなと思いい、彼女のことをがとてまかっこいいと思いました。そして、あなたも気にしているなら大丈夫だと思ふよと、私のことまで気にかけてくれました。今、一番大変で悩んでいるのは、私ではなく彼女であり、私自身の弱さから、私が周りを気にしすぎてしまったのに、彼女は私を安心させてくれました。そして私は、これまでの行動を全て話し、謝りました。彼女は、

「気にしなくて大丈夫。無理もないし、それより今話せていることの方がうれしいから。」
と言いました。私は、こんなことを言ってしまったら、もう前のように仲良くできないと思っていたので、彼女が前と変わりなく接してくれることが、とてもうれしかったです。

学校生活では、たくさんのうわさを聞きます。それでも、強い自分を持ち、誰にでも平等に接すれば、信じられる仲間もたくさんできると思えます。私は、彼女から学んだ、強い自分や優しい心を大切に生きていきたいと思えます。

